

兵庫県
保険医協会

明石支部二ユース



No. 285
2016・11・25
投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部 支部長 吉岡 徹
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号
神戸フコク生命海岸ビル五階
TEL 078078-1801
FAX 078078-3933
1802

明石支部総会・映画「いしや先生」上映会&講演会開催

誰でも医療を受けられる 国民皆保険制度守りたい

支部は10月16日、第33回支部総会を明石市内で開催した。2015年度の活動まとめを行い、16年度の方針を確認した。

総会記念企画として、前済生会栗橋病院院長補佐の本田宏先生によるミニ講演会「本当の医療崩壊はこれからやって来る」および、映画「いしや先生」の上映会を行った。医師・歯科医師や市民ら120人が参加した。

医療の自己負担の重さ 気付きづらい社会

本田先生はミニ講演会で、日本は超高齢化社会が目前に迫っているにも拘わらず、医療費は先進国中最低に抑制されていること、国民の自己負担が世界最高であることを指摘。医師の数が他国と比べて少ないことや社会保障給付費も国際的に最低水準であることを報告した。



ユーマアを交えつつ、分かりやすく解説する本田先生

参加者からはミニ講演会について、「日本の医療は、世界の中で悪い方だと思っていたのが、大変驚いています。これから、良い方に進んでいくことを願っています」「面白おかしく現実を話して下さり、とてもよかったです。私はほぼ100%メディアを信じていたのでわが国の政策のから

制度を良くしていく 努力の必要性実感

さらに、本来そういった実態を報道するべきメディアの問題点にも言及。日本の「報道の自由度」ランキングが低迷する中で、日本の医療・社会保障体制の乏しさが国民的に認知されていないとした。さらに、社会問題の本質を明らかにするためには、物事の全体像を把握すること、グローバルスタンダードと比較するなど広い視野をもつこと、そしてお金の流れを追うことで、誰が得をしているのか確認することが重要と強調した。本田先生は所々にユーマアを交えながら分かりやすく解説をしており、会場からは終始笑い声が絶えなかった。

くりを垣間見たようでわなわなと怒りがこみ上げてきました」「医療制度についてや、現状について少しでも多くのことを知る機会があった。日本は優れた医療水準であるとは思いますが、今後制度について、より良くしていく努力が必要であることを感じました」など、医療費や社会保障費の拡充を訴える感想が多く寄せられた。

映画「いしや先生」 無医村で奮闘

映画「いしや先生」は、昭和初期に山形県の無医村で奮闘した、志田周子の半生を描いた。原作小説は、保団連の「全国保険医新聞」で2013年から15年にかけて連載された。誰もが平等に医療を受けられることの重要性を訴えている。

参加者からは、「貧困、無知、迷信を押しやって戦う女先生に感動した。」「大変立派な先生がおられたことに驚いています。このような方が世の中に知られていくよう願っています。」「など、無医村で周囲の無理解や貧困に苦しみなながらも、村民の生活を守るために尽力する、志田の姿に感動したという声が多く寄せられた。

また、「医療は単に体を治すことだけではなく、社会と結びついていると実感しました。泣きました」「とても良かった！誰でも等しく医療が受けられるように国民皆保険を守らなければ！医療も無料に！」など、医療の問題を社会問題として捉えるようになってきたという声や、国民皆保険制度を守りたいという感想も多数寄せられた。

第6回クリスマスパーティのご案内

日時 12月10日(土)
18:30~20:30



場所 French & Italian cuisine ShipShape

明石駅から南へ徒歩8分 明石市中崎2-4-1-214明石アバンライ2階

参加費 大人4000円(飲み放題付)、中学生まで2000円
※締切:12月2日、定員50名【先着申込順】

明石支部主催のクリスマスパーティも6回目を迎えました。今回の会場は、明石駅から南へ徒歩8分のところにあるレストラン『ShipShape』を貸切しました。飲み放題付きのフレンチ&イタリアンのコースです。

ゲストとして、今年も数々のマジックコンテストで1位や金賞を受賞されているTricker Lokiさんをお招きし、テーブルマジック等でお楽しみいただきます。そのほか、ビンゴゲームもご用意、子どもたちにはお菓子のプレゼントも!

先生のご家族、スタッフの福利厚生、慰勞に、楽しいひとときをすごしませんか?
お申し込み・お問い合わせは、協会事務局
境まで【TEL:078-393-1803】



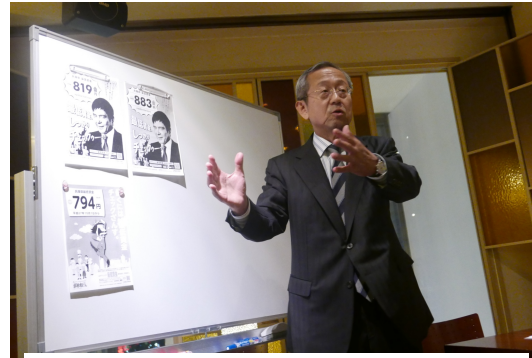
12月10日Xmasパーティ参加申込書 FAX: 078-393-1820

医療機関名 ()

参加代表者氏名 ()

Tel () - () - ()

参加者: 大人 () 人、中学生 () 人、
小学生 () 人、幼児 () 人 合計 () 人



労務管理のポイントを解説する桂社労士

会員懇談会 「やる気を引き出す雇用管理」 魅力ある職場環境を作って 働き手のやる気を引き出す

支部は11月5日、西明石ホテルキャスルプラザ内レストランカンポフェリーチェで、会員懇談会「やる気を引き出す雇用管理」採用から退職まで」を開催した。桂労務社会保険総合事務所所長の

桂好志郎氏を講師に招き、13人の医師・歯科医師らが参加した。桂氏は、医院スタッフの採用に關して、2015年10月から順次施行されている「青少年雇用促進法」に基づき、「過去3年間の採用者数と離職者数」や「残業時間」といった情報について、ハローワークや新卒者から要求があった際の情報提供を義務付ける制度が運用されていることを報告した。「ブラック」な企業の求人を受け付けない制度である。さらに、働き手が働きやすい職場として最も重視するポイントとして、「休暇のとりやすさ」や「労働時間の適正さ」など、長時間労働の解消を希望する声が多いという調査結果を紹介し、「採用する前に、魅力ある職場環境を整

備すること」と強調した。2016年4月から厚生労働省が年5日分の有給休暇を取らせるよう企業に義務付ける方針を取っていることも報告し、年次有給休暇の計画的付与について、労使協定を交わす必要があることを解説した。また有給休暇の付与に關して、医院経営に大きな支障をきたさず、かつスタッフのやる気を引き出せるような休暇の取り方を、具体例を交えつつ解説した。さらに桂氏は、育児休業給付金の取扱いや、育児・介護休業法の改正ポイントについて解説したほか、2014年に企業が「サービスクラス」で是正指導を受け、未払い残業代を支給した従業員が20万人超であったことなどを報告。雇用管理の前提となる雇用関連法の遵守を訴えた。講義の終了後は懇親会を開催。参加した医師・歯科医師・事務長らとの間で活発な質疑が交わされた。